

チャイボラ主催 オンライン研修 2021.8.4 10:00~11:00(~11:30)

明日からすぐに役立つ遊び ~子どもが喜ぶ遊びを知ろう!~

自己紹介 二面変わり絵 『能力アップ!子どもとつくるおもちゃ 幼児とあそぶおもちゃ』P16 参照)

〈子どもの遊びと大人の遊びは違う?〉

〈遊びと「育ての心」 子どもは遊んで育つ〉

大正~昭和時代の児童心理学者・教育者・日本のフレーベルと呼ばれる倉橋惣三の『育ての心』より

「子どもにとって**遊び**ほど幸福でまた貴いものはない。子どもの**遊び**はつまり子どもの身体と心との旺ん(さかん)な活動が外に現れたのにほかならないものであって、子どもが遊ぶということは大げさにいえば、つまり子どもが生きているということと同じ意味であるといってもいいのです」

「自ら育つものを育てせようとする心、それが**育ての心**である」

「**育ての心**は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。

我が子を育てて自ら育つ親、

子らの心を育てて自らの心も育つ教育者。

育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である」

〈大切にしていきたい遊び 時代を超える魅力的な遊び〉

さあ、遊びましょう!

1・すきま時間にも…【ことばとふれあいの遊び】

- ① おなべふ お→おりこうさん な→泣き虫さん ベ→勉強家 ふ→ふざけんぼう
他にも「やさい や→やさしい さ→さみしがり い→いばりんぼ
「ドレミ」

※『藤田浩子のわらべうたあそび このゆびと一まれ(アイ企画)』P.28

② あやとり ひもでっぼう

うできり(占いあそびやおまじないごっこにするとよりいっそう楽しい♪)

ゆびわぬき(輪落とし)

※『あやとり いととり 1.2.3(福音館書店)』

③ 言葉遊び 一文字クイズ

例：口の中に並んでいる白いものは? 「は」

例：夏、プーンと飛んできてチクッとさす小さな虫は? 「か」

お付け言葉探し ○「お」をつけても意味が変わらない言葉と●変わる言葉

○ふとん・みそしる・せんべい・りこう など

●まけ・つり・から・たま・やじ・なら など

※参考『ポケットパズル 杉山亮著(福音館書店)』←県名なぞなぞ他、考える遊び

2・たっぷり時間にも…【身近な道具や材料をつかう遊び】

- ① 絵かきうた ◎傘←♪へびさんへびさんどこいくの あのやまこえて かさかいに
◎魚←♪やまがあって たにがあって だんだんばたけにむぎばたけ
つきがでて ほしもでて あっというまに さかなです
見ても楽しい。覚えて描いてみたくなる・自分でも作りたくなるえかきうたの魅力！
書き足しおえかき（今日は1から8まで）
えかきじゃんけん 花 亀 星 など
※参考『えかきうたのほん 尾原昭夫編著（アイ企画）』
『まるかいてちょん ましませつこ（童話館出版）』
- ② 牛乳パック蛙(ぴょんぴょんガエル) 1リットル紙パック容器と輪ゴムで作る
20個以上作るとますます楽しい
違う作り方と飛び方の「パッチンカエル」もある
- ③ うえしたどっち？ 白い平ゴムを使う 「うーえーしーたーどーっち」
「うえしたまんなか」「いろはにこんぺいとう」バージョンも

3・寝る前の時間にも…【安心する遊び・気持ちを落ち着かせ、リセットしてくれる物語世界と歌】

- ① わらべうたのふれあい遊び ♪ちっちゃいま〜め〜こ〜ろころ
ち〜っとふくれてこ〜ろころ
もちっとふくれてこ〜ろころ もちっとふくれてこ〜ろころ
こんなにふくれてこ〜ろころ〜
※『藤田浩子の 赤ちゃんのあやし方・育て方(一声社)』P.132
♪おやゆびねむれ さしゆびも なかゆびべにゆびこゆびみな
ねんね〜し〜な〜ねんね〜し〜な〜ね〜ん〜ね〜し〜な
※『あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん(のら書店)』P.12
- ② こもりうた ♪おやすみ〇〇ちゃん(〇〇くん)
楽譜資料『こもりうた』清水哲男作詞 中川ひろたか作曲
『今日の夢』藤田浩子作詞作曲
- ③ みんなでおはなしを読みあう(=本の読み語り・朗読)
昔話 寝物語として、一番のオススメは、なんといっても昔話
「昔話は、今でも、子どもがこころの奥深くで求めているものを、
子どもによくわかる形でさし出しています」
『子どもと本/松岡享子(岩波書店)』三章 昔話のもっている魔法の力・副タイトルより
…
昔話は、「人生への励まし」
昔話は、元々は聞いて楽しむ物語。その様式美のある独特なおはなし世界は、子どもを惹きつけ、心から楽しませ、力づけます。
↓オススメの本(昔話集)↓

☆おはなしのろうそく 東京子ども図書館 (小冊子と愛蔵版の2種類)

※収蔵されているおはなし中身は変わらないが、1冊中に収めてある数が違う

☆子どもに語る 日本の昔話①②③ 稲田和子 筒井悦子編著 こぐま社

※子どもに語るシリーズは他に『グリムの昔話』『北欧の昔話』など、どれもオススメ

☆子どもに聞かせる 世界の民話 矢崎源九郎編著 実業之日本社

☆おはなしおばさんのおはなし 春夏秋冬

藤田浩子語り 保坂あけみ絵 「この本読んで！」編集部編集 NPO読書サポート

創作 楽しく美しい詩…ことばを毎晩少しずつ読んでもらい、味わう楽しみ。

★幼い子の詩集 パタポン 田中和雄編 童話屋

★のはらうた 工藤直子(くどうなおことのはらみんな) 童話屋

★パイがいっぱい 和田誠作 文化出版局

★みえる詩あそび詩きこえる詩 はせみつこ編 飯野和好絵 富山房

★しゃべる詩あそび詩きこえる詩 はせみつこ編 飯野和好絵 富山房

(以上 すべて 詩集の本)

そして小学生の子どもたちへたとえばこんな本をおすすめします。

想像力の翼を得て、物語の奥深い世界へ…。

★アリーテ姫の冒険 ダイアナ・コールス作 ロス・アスキス絵 学陽書房

★青空晴之助(シリーズ) 現時点で、第1巻目『青空晴之助 その一 鼻大蛇の巻』復刊中!

★ナルニア国物語(シリーズ) C・Sルイス作 ポーリン・ベインズ絵 瀬田貞二訳
→ぜひ、第1巻『ライオンと魔女』だけでも!(小学3年生くらいから?)

最後に

〈「おもしろがり」と「遊びゴコロ」のすすめ よき水先案内人になるためにも〉

*子どもとたのしむ101のあそび 長谷 康絵 童話館出版編著

*子どもと楽しくつきあう365のあそび

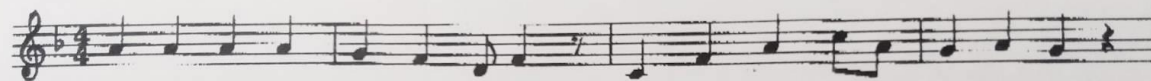
シーラ・エリッソン&ジュディス・グレイ作 クロスロード

〈子どもを癒し、元気にする遊びの力〉

〈子どもの安心と幸せのために。さて、わたしたち大人は安心して幸せでしょうか…?〉

こもりうた

中川ひろたか作曲
清水哲男作詞



お や す み あ か ちゃん に ち よう び の ゆ め は

に ち よう び の
げ か つ よう び の
か す い く よう び の
も き ん よう び の
ど よ う び の

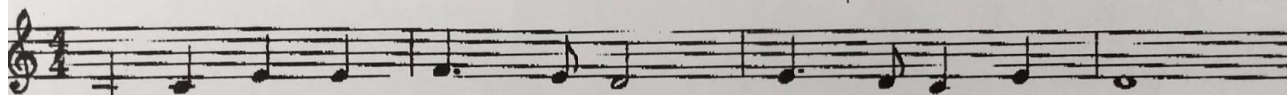


ちっ ちな ちっ ちな

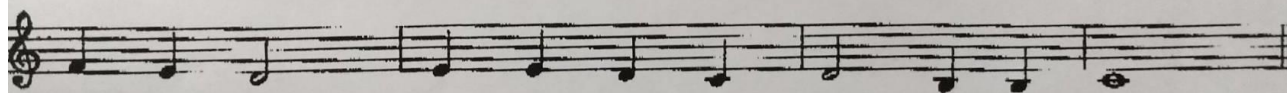
お お ひ き さ ま
お は つ き な さ ま
す す い な い さ ま
つ き い み ん し ゃ
ぬ ぬ か る か み

今日の夢

作詩・作曲：藤田 浩子



お や す み た ろ ちゃん きょう の ゆ め は
お や す み は な ちゃん きょう の ゆ め は



たろ ちゃん が うん てん しゆ に な た ゆ め
はな ちゃん が おは なや さん に な た ゆ め

8/4 研修講座 本リスト

寝物語＝寝る前に、楽しく上質なおはなしを聴く楽しみ 心の遊び

講座内でご紹介した「寝る前の時間にも…」のレジメ外の補足です。

寝物語＝眠りにつく前に、魅力的で上質なおはなしを聴く楽しさとよろこび。

心を遊ばせる満足感と安心感。すばらしい物語は生きる力となる心のごはんです。

布団にくるまりながら読んでもらったあたたかい記憶としても子どもたちの胸に刻まれることでしょう。

リストに挙げた作品群はもちろん、挿絵もとても素敵なので、時々積極的に見せてあげるといっそうよろこんでくれると思います。

短文ではありませんけれど、紹介文を書きましたので、ぜひ参考になさってください。

目の前の子どもの生育環境や性格、心の発達状況など十分に考慮なされた上で、これ読んであげたい！

と思われたものから、ぜひどうぞ♪

物語を楽しむ者同士、心通じ合う豊かな夜のひとときを。

くまのテディ・ロビンソン ジョーン・G・ロビンソン作絵 坪井郁美/訳 (福音館書店)

女の子デボラとくまのぬいぐるみテディ・ロビンソンの、ユーモラスで愛すべきおはなし。(4～5 歳くらいから) ※シリーズあり

メリーメリーおとまりにでかける ジョーン・G・ロビンソン作絵 小宮由/訳 (岩波書店)

小さい女の子メリーメリーは 5 人きょうだいの末っ子。姉兄にお邪魔扱いされるメリーメリーが巻き起こす、愉快痛快でユーモアとあたたかみのあるおはなし。子どもも大人もそれぞれのおもしろところで頬がゆるむことでしょう。わたしは電車で読んでいた時、あまりの楽しさに駅を降りそびれました。(4～5 歳くらいから) ※シリーズあり

ポリーとはらぺこオオカミ キャサリン・ストー作 掛川恭子/訳

機転の利くかしこいポリーと、ポリーを食べたい(けどたべられない)はらぺこオオカミのやりとりがおかしくて、子どもが喜びます。グリム昔話『赤ずきん』『おおかみと 7 ひきのこやぎ』イギリス昔話『3 ひきのこぶた』も二人(?)の会話にポンポンでてくるのがたまりません。(小学校 1 年生くらいから)

長くつ下のピッピ アストリッド・リンドグレーン作 ニイマン絵 菱木晃子/訳 (岩波書店)

ひとり暮らしのピッピは 9 歳の女の子。その自由でたくましい姿は「世界一強い女の子」(!)

時代を超えて子どもたちが憧れるのもうなずけます。(小学校中学年くらいから)

ねこじゃらしの野原 安房(あわ)直子/作 菊池恭子/絵 (講談社)

心やさしい夫婦が営むとうら屋さんのおはなし。お客さんは人間ではありません。読者はいつのまにか、「ここではない世界」に連れていかれる…ふしぎでちょっぴりソワソワする雰囲気をもっているような世界観です。全体に、作者のちいさきものたちへの優しいまなざしが通底していて、読後は胸があたたかくなります。(小学校中学年くらいから)

こわいオオカミのはなしをしよう ウィリアム・マクリーリー作 佐竹美保/絵 小宮由/訳

5歳の息子マイケルのために、パパの作り話＝寝る前に聞かせるベッドサイドストーリー がさく裂します。文句なしにおもしろいです。パパの話と関係のない会話も自由自在に飛び交うから、作品のおもしろさに厚みと臨場感が増しています(二つが区別できるように、読み方を変えるなどちょっと工夫したほうがいいかもしれませんね♡)。パパのおもしろがりマインドと、ちゃんと大人しているのが素敵。佐竹美保さんの絵もブラボーです。(小学校…うーん悩みますが低学年くらいからにします)

紙人形のぼうけん マーガレット・マーヒー作 清水眞砂子訳 (岩波書店)

蛇腹に折った紙のつながる切り絵…で遊んだことがありますか？サリーがおばあちゃんに作ってもらった5人の紙人形の女の子たちが、鳥にさらわれ風に飛ばされ…めくるめくぼうけんをします。人形たちのセリフがすごい！最後は晴れ晴れの満足感でいっぱいになります。(小学校中学年くらいから)

さかさ町 F・エマーソン・アンドリュース作 ルイス・スロボドキン絵 小宮由/訳(岩波書店)

「すべてのことがさかさまの町があったら、どんなに楽しいでしょうね！～略～子どもが働いて、大人が遊び、お店に行けば物をただでくれ、そのうえ、お金までくれるのです！この本は、そんなゆかいな町のお話です。(訳者あとがきより)」子どもの心をつかんで喜ばせるのとは別に、大人にはなかなか考えさせられる要素が詰まった、とても優れた児童書だと思います。(小学校中学年くらいから)

菜の子先生がやってきた！学校不思議案内・つむじ風の1学期 富安陽子/作 YUJI 画(福音館書店)

子どもたちに人気の学校話。わたしも子どものころにこの本に出会っていたら、まちがいに、ミステリアスでとらえどころのない菜の子先生に夢中になっていたと思います。菜の子先生に、かのメアリー・ポピンズを重ねてしまうのはわたしだけでしょうか。(小学生中学年くらいから)

びりっかすの神さま 岡田淳/作絵

この本を読んだのは大人になってからですけど、とても驚いて感動したのを覚えています。「もしも、学級の中に、なにをしても、わざとびりになる子がいたらどうなるだろう。そう考えたのが、この物語をつくりはじめたきっかけです。～略～学級のなかの競争よりもおもしろいことってなんだろう。いやそれよりも、学級のなかの競争というのは、本気になるだけのねうちがあるものなんだろうか。学級って、競争するところなんだろうか…。そんなことを考えているうちに、びりっかすさんは、ひょいとうまれてきたのです。(作者あとがきより)」(小学校中学年くらいから)